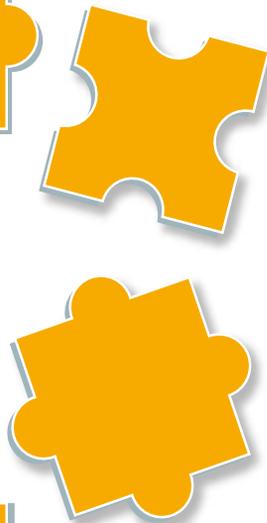


報 政 家 県政のつなぐ



埼玉県議会議員

山口京子

発行:埼玉県議会自由民主党議員団

県議会12月定例会

時短協力金として 約**19億4,283**万円 **補正予算【第11号】**

県議会12月定例会は11月30日から12月18日にかけて開催され、補正予算【第10号】【第11号】をはじめ県立4病院の地方独立行政法人化を進めるための条例などを議決しました。

補正予算【第11号】19億4,283万2千円は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い行った、飲食店等へ営業時間短縮要請に対して、協力した店舗に1店舗28万円を支給するためのものです。なお、私たち自民党県議団は時短営業の効果や影響についてしっかり検証するよう『科学的根拠を生かした新型コロナウイルス感染症対策を求める決議』を提案し、付帯決議としてあわせて議決しました。

その他、県立4病院(循環器・呼吸器病センター、がんセンター、小児医療センター、精神医療センター)の地方独立行政法人化を進めるための条例を制定しました。4病院の法人化によって、これまで以上に県民の生命と健康を支える医療機関となるようしっかり見ていきたいと思っております。



1月臨時議会報告

補正予算案の変更(県内飲食店に対しての協力金について)

時短協力金として財源:国庫支出金 約**582億20**万円 **補正予算【第12号】**

第3期(令和2年12月28日から令和3年1月11日まで)に係る協力金の増額 約**4億9,800**万円
※対象地域:さいたま市、川口市、越谷市

第4期(令和3年1月12日から2月7日)に係る協力金の支給 約**577億220**万円
※対象地域:県内全市町村対象 ※27日×6万円=162万円(1店舗あたり)

対象:県内全域において、原則として期間中、営業時間の短縮に全面的に協力した店舗(カラオケ店、バー等を含む飲食店)を運営する事業者
営業時間:午前5時から午後8時まで(酒類提供は午後7時まで)

1ヶ月延長の
時短協力金として 約**852億4,256**万円 **補正予算【第13号】**

財源:国庫支出金
※3月7日まで1カ月延長の時短協力金は、地方自治体法179条第1項の規定に基づく地方知事処分としました。

県迷惑防止改正条例を可決

近年、スマートフォンの急速な普及、撮影機器の高機能化、小型化に伴い、盗撮行為が社会的問題となっており、盗撮された画像データ等は半永久的に記録され、インターネット上に流出する恐れや個人が特定されるケースも少なくありません。

そこで、自民党県議団では悪質な盗撮行為の規制を強化することで県民生活の平穏を図ることを目指し、プロジェクトチームを組織し盗撮行為の規制場所、規制行為、罰則等を強化する「埼玉県迷惑行為防止条例の一部を改正する条例案」の制定に取り組んで参りました。

12月定例県議会では自民党県議団が議員政策条例として提案し、可決・成立致しました。本年4月1日施行となります。

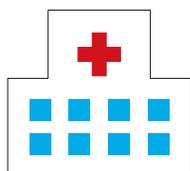
地下鉄7号線建設誘致期成同盟会要望活動



▲11月20日、期成同盟会会長の中野蓮田市長他から、埼玉県議会自由民主党地下鉄7号線議員連盟へ延伸要望書が提出されました。

地域の病院・診療所で診療可能に・・・

新型コロナウイルス&インフルエンザ医療機関を公表



県は、発熱患者が迷わず地域の医療機関等で受診することができるよう、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの両方を診察・検査を行うことが出来る医療機関を「埼玉県指定 診療・検査医療機関」として指定、公表しています。指定 診療・検査医療機関は、下記よりお住いの地域を検索してください。



<https://flu-search.pref.saitama.lg.jp/> 詳しくは

- 他の症状の患者と接触しないように発熱患者専用の受付時間を設定しています。

必ず事前に電話連絡をしてから受診してください。

※事前連絡をしないで医療機関に行っても、受診できない事があります。

- 検査は、医師が必要を認めた場合に限り行われ、**漠然とした不安がある、陰性証明が欲しい**という理由での**検査はできません**。
- 診療のみを行い、**検査は連携する医療機関などへ引き継ぐものを含んでいます**。
- 受診の際は**マスクを着用し、医療機関の指示に従って**ください。
- 公共交通機関の利用を控えて**受診してください。

※かかりつけ医がない方は「**埼玉県受診・相談センター(048-762-8026)**」へ

※夜間や休日・緊急時には「**県民サポートセンター(0570-783-770)**」へ

埼玉県指定 診療・検査医療機関

新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの両方を診察します。

蓮田市内の医療機関一覧

- | | |
|--------------------|----------------------|
| ○独立行政法人国立病院機構東埼玉病院 | ○医療法人心喜会蓮田外科 |
| ○西村内科クリニック | ○医療法人須田小児科内科クリニック |
| ○医療法人悟明会田口医院 | ○医療法人社団桃季会佐々木耳鼻咽喉科眼科 |
| ○おだ内科 | ○本田内科医院 |
| ○医療法人社団愛友会蓮田一心会病院 | ○井上医院 |
| ○医療法人顕正会蓮田病院 | |

犬猫の殺処分ゼロを目指すその先の取組について

Q 山口県議 野良猫の問題は環境問題であり、置き餌、鳴き声、糞尿等のご近所トラブルにもなっています。野良猫を増やさないためには「TNR（捕獲する『トラップ』、不妊・去勢する『ニューター』、地域に戻す『リターン』）」を実施する施策が重要です。県も平成24年度から、市町のTNR事業に対し助成をしています。しかし、不妊・去勢のための費用がオスは1万円、メスは2万円が相場ですが、県の助成は1頭あたり5千円です。助成金額を増やせないでしょうか？

さらに、手をあげた市町村に広く薄くではなく、モデル地区を指定して集中的に展開すべきだと考えます。野良猫対策は保護猫活動等のボランティアの方々と市町村や県の「やる気」のある行政とが連携すると実績の上がる事業で、県の所見を伺います。

A 保健医療部 一部の動物病院では、ボランティアが持ち込む野良猫の不妊・去勢手術に限り1頭5千円で実施し、多くのボランティアがこうした病院を利用していることから助成額を5千円としています。より多くのボランティアを支援し、より多くの手術を実施するため、助成額は5千円と考えております。

TNRの補助事業については、今年度は12市町が利用しており、来年度以降も利用を希望する自治体があることから、直ちに見直すことは難しく、十分なコンセンサスを得ていく必要があります。まずは市町村に対して補助金に関する意向調査などを行った上で、ご提案の集中的運用も視野に入れながら、より効果的な運用方法を検討してまいります。

広く市民の皆様の声をいただきながら、県への要請を強めていきたいと考えています。

AYA世代の若年がん患者への支援について

Q 山口県議 AYA世代とは15歳～39歳位までの、思春期及び若年成人のことです。20歳未満のがん患者さんは小児慢性特定疾病等のサービスが受けられ、40歳以上だと介護保険の対象になりますが、20歳～39歳の支援が抜け落ちているのです。末期がん患者で子供が小さく、自宅で過ごしたい患者への支援が必要です。

すでに静岡県、鹿児島県、和歌山県や横浜市、神戸市では支援を行っています。さいたま市も来年度の導入に向けて検討がされています。埼玉県も予算特別委員会で「今後検討していく」との答弁を頂いていますが、どのように検討されているのか伺います。

さらに、治療中の患者さんの脱毛に欠かせないウィッグの購入、乳房の補正下着や乳房再建の費用など、がんと診断されても患者さんが前向きな気持ちになるための支援もとても大切だと考えます。知事もその重要性を話されており、どのような検討がされているのか伺います。



蓮田市は保護猫活動のボランティアの方と連携して積極的に取り組んでいます。

A 保健医療部 先行している7県を調べたところ、ほとんどの県で介護保険制度に準じて市町村が実施し、県は市町村に補助金を交付しています。導入している市町村からは、対象者が極めて少なく、また一人ひとりの状態が大きく異なるため、介護現場は戸惑うことが多いと聞いています。そのため、必要な在宅医療や在宅介護サービスが地域において偏りなく提供できるかを精査した上で、市町村の意見も伺いながら事業のあり方を検討してまいります。

ウィッグや補正下着などアピアランスケアについて、9月15日に県がん対策推進協議会において意見を聞きました。委員からは、まずはがん診療提携拠点病院の相談支援部門のスタッフを対象に、アピアランスケアに関する専門知識を習得するための研修を充実させ、質の高い支援が提供できる体制を構築すべきといった意見を頂きました。このため、費用支援の前段階として、多様な情報の整理や相談に対応できる体制整備を検討してまいります。

河川沿いにある桜並木について

Q 山口県議 川沿いの桜並木は良好な景観を生み、川や街に安らぎと賑わいをもたらす、大切な地域の資源です。水面に映る桜の美しさはまさに芸術品です。

一方で、堤防上の植樹については、治水上の観点から制限があると聞いています。昨今の激甚化する降雨に対応した治水対策の重要性を考えると、堤防上の桜などの樹木が悪影響を及ぼすことがあってはなりません。治水対策に万全を期しつつ、川の国埼玉として川沿いの桜並木の景観を維持することが必要だと考えます。

桜の所有者が誰なのか分からないことも多い中、地域住民はずっと変わらず堤防の桜を愛でられることを望むとともに、今ある桜が寿命を迎えることになったらどうなるのか心配しています。堤防上の桜が寿命を迎えた場合の植え替え等の考え方について伺います。

A 県土整備部長 川沿いの植樹については国の「河川区域内における樹木の伐採・植栽基準」に基づくこととなります。植樹にあたっては、地元市町村などが実施主体となり、将来にわたる適切な樹木の維持管理がなされるよう求められています。具体的には、存続を求める地元市町村などから植え替えの協議があった場合は、植樹基準に基づき、河川管理上支障とならなければ許可することができます。

今後も地元市町村と連携し、治水上の観点を充分踏まえつつ、県民に親しまれる河川環境の形成に努めてまいります。



埼玉県LINEコロナお知らせシステム

県内の不特定多数の人が利用する施設や店舗、イベントで、新型コロナウイルス陽性者と濃厚接触した可能性のある方にお知らせするシステムです。施設や店舗等にQRコードを掲示し、その場所を訪れた方にQRコードを読み込んでいただきます。後日、その施設や店舗、イベント会場等を訪れた方が新型コロナウイルス陽性となった場合、保健所の判断により、その方と濃厚接触した可能性のある方に対して、相談を促すメッセージをLINEでお送りします。皆さまのご利用をお願いします。

事業者の皆さまへ

次のアドレスの発行フォームから店舗等の情報を登録すると、QRコードが発行されます。 <https://saitama.qr.liny.jp/entry>

インクルーシブ公園の整備とプレーパークの推進について

Q 山口県議 インクルーシブとは直訳すると「包む込む・包括」という意味で、「障害のある人もない人も分けずに包み込もう」という概念です。令和2年の春、インクルーシブ公園が東京都世田谷区の都立砧公園に誕生しました。遊具がある広場には地面にゴムチップが敷かれ、身体を支える力が弱い子が揺れる感覚を楽しめる大型ブランコや、車いすに乗ったまま遊具の中を通ることができる複合遊具などが整備されています。



世田谷区の都立砧公園に設置されている複合遊具施設

子供が遊びながら成長する場が公園であり、障害のある子もない子もみんなが遊べる公園が埼玉にも必要だと考えます。県の見解を伺います。

A 都市整備部長 県はこれまでも段差を無くすなど、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、誰もが使いやすい公園づくりを進めてきました。さらに一歩進んだ、インクルーシブの考え方を取り入れていくことは、今後の公園に必要な視点です。インクルーシブ公園の整備状況や利用状況、導入にあたっての課題などの調査を行い、どのように取り入れることができるか検討してまいります。

Q 山口県議 プレーパークは「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーとした、子供たちの好奇心を大切に、自由にやりたいことができる、既存の遊具等は一切ない遊び場です。県内には常設ではなく、月に1~3回開設する施設が20箇所ほどあると聞いています。

広い公園の一区画に、常設のプレーパークがあることが理想ですが、県営公園におけるプレーパークの整備推進について見解を伺います。

A 都市整備部長 県営公園は大宮公園や和光樹林公園で、NPO等が主催したプレーパークの事例があり、開催日には100人を越える子供たちが楽しんでます。一方、プレーパークの運営には、事故が起きないように注意を払う体制や、思わぬ怪我やトラブルにも対応できるリーダー役の存在が欠かせません。

安全確保や活動形態の状況などを指定管理者とともに研究し、プレーパークを運営しやすい公園づくりを進めてまいります。



自分たちで考えた遊具で楽しむ子供たち（世田谷区羽野木公園プレイパーク）

元荒川浚渫工事

浚渫しゅんせつ工事は、河川の底面を浚さらって土砂などを取り去る土木工事のことで、水源からの堆積土砂のため川底が浅くなり、河川の流量が確保できなくなることから治水のために行われる工事です。

県では、元荒川の浚渫工事を実施しています。右の写真は今宮橋付近の様子です。引き続き、来年度も実施出来るように県に要望して行きます。



元荒川浚渫工事の様子：R3年1月

新型コロナウイルス感染症ワクチン接種へ

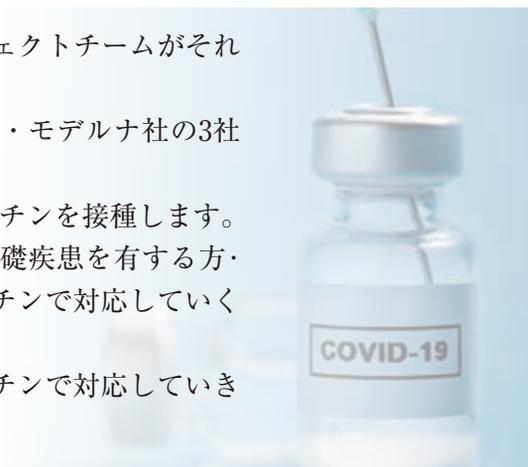
現在、埼玉県と各市町村でワクチン接種の為のプロジェクトチームがそれぞれつくられて、体制整備が着々と行われています。

埼玉県では、ファイザー社とアストラゼネカ社と武田・モデルナ社の3社の内、まずはファイザー社のワクチンを使用します。

県民約740万人の内、約4割の300万人がファイザーのワクチンを接種します。

優先接種として、医療従事者、65才以上の高齢者・基礎疾患を有する方・高齢者施設等の従事者については、ファイザー社のワクチンで対応していく予定です。

その後、アストラゼネカ社と武田・モデルナ社のワクチンで対応していきます。



ワクチン接種期間の割り当てイメージ

現在、県と各市町は新型コロナウイルス感染症ワクチン接種に向けてプロジェクトチームが作られ体制整備が着々と行われています。



※アストラゼネカ社、武田/モデルナ社の対応期間の算出の考え方: 50回接種/日×週5日
※ワクチン接種期間の割り当てイメージは2月10日現在の予定です。

「日の出家」世界でFC展開へ



株式会社彩々楽
代表取締役 栗原 正生氏

蓮田駅西口駅前で「日本料理彩々楽」始め3店舗の代表を務める栗原氏、明治18年創業の「日の出家」4代目である栗原氏は、大阪の辻調理師専門学校で「腕を磨けば包丁一本で世界の料理人になれる」というアドバイスを受け、世界の料理人を目指す為、毎日、数百本の魚捌きのアルバイトや英語を勉強、卒業後、銀座吉兆へ就職。その後、将来の目標として10カ年計画をたて市内に3店舗、16年に夢のサンフランシスコへ「だしラーメン日の出家」を出店、19年には米国で3店舗の出店となる。米国での評判も好評で現在、フランチャイズ展開に向けて活動中である。また、今年「日本食普及の親善大使」*に任命された。

※「日本食普及の親善大使」は農林水産省が行っている事業で、海外における日本食・食文化の普及を更に進めることを目的として、平成27年から任命を行っています。令和3年は日本食関係者36名が新たに親善大使に任命されました。

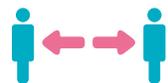
新しい生活様式

新型コロナウイルスの感染予防のためには「新しい生活様式」を心掛けることで、感染症の拡大を防ぎ、自分の、みんなの「命」を守ることにつながります。

基本1

社会的距離の確保

離れて



お並びください

基本2

マスクの着用

マスク着用



(食事中以外)

基本3

手洗い

手指の消毒に



ご協力ください

- 人との間隔はできるだけ2m空ける。
 - 会話をしている際は可能な限り真正面を避ける。
 - 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- ※高齢者や持病があり重症化リスクの高い人と会う際は、体調管理を普通より厳重に。

二月定例会 2月19日から3月26日までの予定です。

■埼玉県政に対する意見や要望など、皆さまの声をお寄せください。

山口京子県政調査事務所

蓮田市本町6-7 サンクヴェール506 TEL・FAX 048-876-8776

mail:info@k-yamaguchi.com

ホームページ <http://www.k-yamaguchi.com>

